

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会

会務の運営

1. 理事会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案	結 果
1	令和2年 6月8日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	理事 11名 監事 2名	議案第1号 経理規程の一部を改正する規程の制定について 議案第2号 令和元年度事業報告並びに決算報告について 議案第3号 令和2年度資金収支補正予算(案)について 議案第4号 令和2年度定時評議員会の招集について 議案第5号 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について 人事案1号 理事の選任候補者の提案について 人事案2号 監事の選任候補者の提案について 人事案3号 評議員の選任候補者の提案について 協 議 令和2年度共同募金配分申請事業について	原案決議 承認 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案承認
2	令和2年 6月23日 (火)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	理事 12名 監事 3名	人事案1号 副会長の補欠の選定について 人事案2号 評議員選任・解任委員の選任について	選 定 選 任
3	令和2年 11月4日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (大会議室)	理事 13名 監事 3名	報告案1号 会長及び常務理事の職務の執行状況について	
4	令和3年 3月11日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (大会議室)	理事 12名 監事 3名	報告第1号 令和2年度共同募金配分事業変更計画について 報告第2号 令和2年度自己評価実施結果について 報告第3号 令和2年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 報告第4号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 定款細則の一部を改正する細則の制定について 議案第2号 経理規程の一部を改正する規程の制定について 議案第3号 慶弔規程の一部を改正する規程の制定について 議案第4号 臨時職員・パート職員・登録職員給与規程の一部を改正する規程の制定について 議案第5号 令和2年度資金収支補正予算(案)について 議案第6号 令和3年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 議案第7号 令和2年度第2回評議員会の招集について 人事案1号 利用者からの苦情解決の取り組みに関する第三者委員の選考について	承認 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案同意 原案同意 原案決議 選 考

2. 評議員会

回	開催月日	開催場所	出席数	議 案	結 果
1	令和2年 6月23日 (火)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	評議員 32名 理事 3名 監事 2名	議案第1号 令和元年度事業報告並びに決算報告について 議案第2号 令和2年度資金収支補正予算(案)について 人事案1号 理事の補欠の選任について 人事案2号 監事の補欠の選任について 協 議 令和2年度共同募金配分申請事業について	承 認 原案承認 選 任 選 任 原案承認
2	令和3年 3月22日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (大ホール)	評議員 32名 理事 4名	報告第1号 令和2年度共同募金配分事業変更計画について 報告第2号 令和2年度自己評価実施結果について 報告第3号 令和2年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 議案第1号 令和2年度資金収支補正予算(案)について 議案第2号 令和3年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 協 議 利用者からの苦情解決の取り組みに関する第三者委員の選考について	承 認 原案承認 原案承認

3. 監査会

回	開催月日	開催場所	出席数	内 容	結 果
1	令和2年 5月28日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 2名	1. 令和元年度事業報告並びに業務執行状況について 2. 令和元年度計算関係書類、財産目録について	適正に処理されていることを認めた
2	令和2年 11月27日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	監事 3名	1. 令和2年度上半期事業報告並びに業務執行状況について 2. 令和2年度上半期計算関係書類、財産目録について	適正に処理されていることを認めた

4. 評議員選任・解任委員会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議 案	結 果
1	令和2年 6月11日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (応接室)	委員 3名	1. 評議員の補欠の選任について	選 任

5. 専門部会

(1) 総務企画部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協 議 案 件
1	令和3年 2月25日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	部会員 4名	1. 令和2年度共同募金配分事業変更計画(案)について 2. 自主財源について 3. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4. 介護保険事業について 5. その他

(2) 地域福祉部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和3年 2月26日 (金)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	部会員 6名	1. 令和3年度実施事業の検討について 2. 令和2年度共同募金実績及び配分事業の検討について

6. 幹部会

回	開催月日	開催場所	出席数	協議案件
1	令和2年 6月1日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	4名	1. 令和2年度第1回理事会提案議案について 2. 令和2年度定時評議員会提案議案について 3. 令和2年度第2回理事会提案議案について 4. 令和2年度第1回共同募金委員会運営委員会提案議案について 5. 令和元年度介護保険事業等実績について 6. 令和2年度社協会費について 7. 第70回三戸郡社会福祉大会被表彰候補者の推薦について 8. 公用車の更新について 9. 新型コロナウイルス感染予防について 10. その他
2	令和2年 8月31日 (月)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	5名	1. 令和2年度第2回共同募金委員会運営委員会提案議案について 2. 令和2年度社協会費実績状況について 3. 第42回町社会福祉大会について 4. 敬老会中止に伴う記念品等について 5. その他
3	令和2年 10月14日 (水)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	4名	1. 令和2年度第3回理事会提案議案について 2. 令和2年度社協会費実績状況について 3. 新型コロナウイルス感染症対策支援活動助成事業の申請について 4. その他
4	令和2年 12月24日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (小会議室)	5名	1. 令和2年度社協会費実績状況について 2. 令和2年度共同募金実績状況について 3. 令和2年度介護保険事業等実績状況について 4. 令和3年度町補助金・委託金交付申請内容について 5. いきいきシルバーバンク事業について 6. 赤い羽根「新型コロナウイルス感染症対策支援活動助成事業」について 7. 令和2年度資金収支補正予算の専決について 8. 職員募集について 9. その他
5	令和3年 3月4日 (木)	ハートフルプラザは しかみ (中会議室)	4名	1. 令和2年度共同募金配分事業変更計画について 2. 令和2年度第4回理事会、第2回評議員会提案議案について 3. 令和2年度第3回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4. その他

理事・監事・評議員等名簿

令和3年3月31日現在

1. 理事（定数10名以上13名以内）

会 長	松 橋 竹 子		
副 会 長	十文字 倉 男	堰 合 勝 美	
常 務 理 事	鳩 文 男		
理 事	平 野 悦 子	上長根 武 志	中 島 孝 一
	森 榮 吉	濱 谷 三枝子	松 川 金次郎
	岩 城 恵 子	梨 子 謙 一	長 根 清 子

2. 監 事（定数3名以内）

上 博 文	郷 州 満	田 中 昇
-------	-------	-------

3. 評 議 員（定数31名以上34名以内）

山 下 和 子	岩 谷 悦 子	外 崎 礼 子	小 室 行 弘
左 舘 幸 雄	日 向 登美男	坂 本 憲 子	三 島 亱 ル
下 野 禮知子	澁 谷 一 枝	坂 鈴 木 晟 爾	荒 谷 正 壽
廣 田 勝 三	松 川 純 悦	荻 沢 一 信	南 正 人
境 栄 治	上 平 稔	千 田 慶 子	佐 京 忠 史
鹿 原 仁	小 坂 正 年	大 下 修 子	小 野 榮 悦
下 野 ス ミ	川 浪 秀 一	土 橋 秀 子	磯 島 富 盛
土 橋 美智子	野 沢 敏 雄	西 村 初 男	守 政 美
木 村 良 三	日 影 百合子		

4. 評議員選任・解任委員会委員（定数4名）

上 博 文	佐 京 正 光	工 藤 靖 夫	郷 州 満
-------	---------	---------	-------

実施報告

I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

1. 地域住民の主体的福祉活動の推進

(1) 生活支援体制整備事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から6月までは事業を休止し、7月からほのぼの交流協力員やネット協力員による、一人暮らしの高齢者等の訪問活動を進め、互いに支え合う体制・地域づくりの推進に努めた。また、地域の福祉課題把握等のための民生委員、区長、ほのぼの交流協力員等との情報交換会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

○ほのぼの交流協力員連絡会議の開催

ほのぼの交流協力員チーフを対象として、事業推進のための連絡会議を開催した。

- ・期 日 令和2年7月9日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 21名
- ・内 容 ほのぼの交流会に係わる注意事項について、事業推進に係る質問事項について

○協力員研修会の開催

ほのぼの交流協力員等を対象として活動推進のための研修会を開催した。

- ・期 日 令和3年2月2日（火）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 18名（ほのぼの交流協力員10名、サポーター8名）
- ・内 容 講義「介護に関する入門的研修」

講師：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科

助教 岩館 亜沙美 氏

○情報交換会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

○地区別交流協力員・ネット協力員の状況

地区名	対象世帯	交流協力員チーム数	交流協力員数	ネット組織世帯	ネット協力員数
石 鉢	5 4	1	6	3	7 (1)
蒼 前	2 7	2	5	1	4
野 場 中	4 7	2	5	2	6
角 柄 折	3	1	3	0	0
金 山 沢	4 6	4	9	0	0
田 代	3 1	2	6	1	4
晴 山 沢	1 1	1	6	0	0
平 内	3 3	2	7	0	0
鳥 屋 部	3 4	2	6	0	0
赤 保 内	5 0	1	9	0	0
耳 ケ 吠 西					
耳 ケ 吠 東	3 5	1	9	2	5 (2)
荒 谷	1 5	1	4	0	0
大 蛇	3 7	1	5	0	0
追 越	1 7	1	5	1	3
榊	5 3	1	7	0	0
駅 前	5 3	4	1 0	1	4
道 仏	4 3	5	1 2	1	2
小 舟 渡	9	2	7	2	6
合 計	5 9 8	3 4	1 2 1	1 4	4 1 (3)

※ () 内は、ネット協力員も兼ねているほのぼの交流協力員の人数

(2) ほのぼの交流会開催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から6月までは事業を休止し、7月からほのぼの交流協力員と連携し感染予防・防止対策を行いながら事業を進めてきた。交流会開催にあたっての企画支援や介護予防運動指導員等の派遣調整を行い、参加者同士の交流と地域での仲間づくりを推進した。また、「ほのぼのサロン」についても7月から開催し、高齢者の閉じこもり防止と参加者同士の交流を図った。

○交流会開催状況

地区名	開催回数	場 所	参加者	地区名	開催回数	場 所	参加者
石 鉢	2	石鉢ふれあい交流館等	6 7	耳 ケ 吠 東	3	耳ケ吠東集会所	8 5
蒼 前	2	蒼前集会所	5 2	荒 谷	1	旧荒谷集会所	1 5
野 場 中	1	石鉢ふれあい交流館	4 7	大 蛇	4	大蛇三地区集会所	9 0
角 柄 折	1	個人宅	3	追 越	7	大蛇三地区集会所	9 5
金 山 沢	6	金山沢水郷館等	5 5	榊	5	道仏交流センター等	8 8
田 代	3	田代集会所等	6 4	駅 前	2	道仏交流センター	5 3
晴 山 沢	2	わっせ交流センター	1 6	道 仏	2	道仏集会所等	5 8
平 内	5	わっせ交流センター	8 6	小 舟 渡	1	個人宅	9
鳥 屋 部	5	森の交流館等	7 9				
赤保内・耳ケ吠西	4	赤保内集会所等	1 0 2	合 計	5 4		1,023

※ 金山沢は、水無、野場、金山沢、長根班それぞれで開催。赤保内は、耳ケ吠西と合同で開催。

○ほのぼのサロン実施状況

場所	開催時期	開催回数	参加者
田代集会所	7/1、8、15、22、29	5	5 2
道仏交流センター	7/6、13、20、27	4	8 4
石鉢ふれあい交流館	8/3、17、24、31	4	4 0
大蛇三地区集会所	9/1、8、15、29	4	5 4
フォレストピアはしかみ	10/6、13、20、27	4	2 3
金山沢水郷館	11/2、9、16、30	4	4 0
わっせ交流センター	12/7、14、21、28	4	3 3
計		2 9	3 2 6

(3) 緊急通報システム福祉安心電話サービス事業

協力員や民生委員、県社協（中央センター）、関係機関等と連携を図りながら、1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活する上での、緊急時の身体的安全と精神的安心のため、365日24時間対応サービスとしての運営及び近隣住民による見守り活動の推進を図った。また、利用世帯を訪問し機器の点検や通報確認・消耗品等の交換と利用者の状況把握を行うとともに、事業周知に努めながら互いに支え合うネットワークづくりの推進を図った。

○本年度設置台数 3 台

○事業退会者数 1 名

○年度末総設置台数 1 3 台

○協力員数 4 1 名

○通報着信・対応状況

通報着信状況						
緊急	相談	火災	A C 復電	A C 停電	故障	計
2			3	3	1	9

対応状況							
協力員要請	救急車要請	消防車要請	救急・協力員要請	消防・協力員要請	停電・協力員要請	社協対応等	計
			2		1	3	6

(4) 敬老会開催事業

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区による敬老会を中止し、75歳以上の高齢者を対象として、記念品（ライト付きルーペ）、名入りタオル、しおりを配布する経費の助成金として記念品配布協力費を各行政区に助成した。

○敬老会しおりの作成 2, 200部

2. 当事者の社会参加の促進

(1) 介護予防・地域支援事業の推進

高齢者の介護予防と生きがいの促進及び家族介護者支援のため、ハート生き生き事業、認知症カフェ設置事業、通所型サービスC事業、家族介護者交流事業を、町地域包括支援センターや関係機関との連携のもとに推進を図った。

①ハート生き生き事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月までは事業を休止し、6月から事業を開始した。

事業は、趣味講座は行わず、ハートフルプラザ・はしかみにおいて毎週2回（月・木曜日）看護師による入浴前の健康相談を実施した。月曜日は三地区（赤保内・耳ヶ吠西・耳ヶ吠東）、木曜日は三地区以外の方を対象に実施し、福祉バスでの送迎は木曜日のみとした。月・木曜日とも利用時間は正午までとした。

さらに、ボランティアによる見守りのもと、エクササイズ機器やリラクゼーション機器の使用により利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防・啓発を図った。

○事業実施回数	75回（月曜37回、木曜38回）
○延べ利用者数	1,213名（月曜510名、木曜703名）
○利用登録者数	115名（男性29名、女性86名）
○実利用者数	54名（男性21名、女性33名）
○新規利用者	5名（男性3名、女性2名）
○入浴サービス延べ利用者数	1,212名

新型コロナウイルス感染拡大防止のための事業休止に伴い、登録者の生活状況の聞き取りを実施した。また、趣味講座の裂き織り教室参加者や町民より手作りマスクをご寄附いただき、利用登録者をはじめ75歳以上の一人暮らしの高齢者等へ配布した。

○聞き取り期間	令和2年4月13日～16日 ※電話による聞き取り
○対象登録者	90名
○聞き取り内容	体調、自宅での入浴、普段の買い物、通院、困りごと等について

②認知症カフェ設置事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月までは事業を休止し、6月から事業を開始した。

事業は、認知症の方やその家族及び地域住民、入浴サービス利用者を対象に、認知症についての相談や情報提供、助言のほか、認知症についての正しい知識や普及啓発を図るとともに、相互の交流の場として、ハートフルプラザ・はしかみにおいて毎週2回（月・木曜日）認知症カフェとして「はあとカフェ」を設置した。

○実施回数・時間	75回（月曜37回、木曜38回）	午前10時～12時
○延べ利用者数	871名（月曜258名、木曜613名） （男性245名、女性626名）	
○実利用者数	44名（男性14名、女性30名）	

○実施内容

- ・看護師及び専門職員等による相談、助言等
- ・予定していた認知症予防運動教室は、感染防止のため中止した。
- ・カフェボランティアから、利用者の話し相手や飲物提供のほか、感染防止のため室内の消毒・換気等認知症カフェの運営にご協力をいただいた。

③通所型サービスC事業

毎週1回、ハートフルプラザにおいて「わんつかげんき教室」を集团的・通所形態により実施し、要介護状態への予防を図るとともに、生きがいや自己実現のための取り組みの支援を図った。

【実施期間・回数・参加者数】

・第1クール 6月～ 8月（12回） 参加者19名（女性のみ）

・第2クール 10月～12月（12回） 参加者18名（女性のみ）

ストレッチ体操、筋力トレーニング、バランス感覚向上トレーニング、簡易な器具を用いた運動や認知症予防体操等を実施し、運動機能の維持と向上を図った。また、難易度の違うメニューを準備し、個々の体力や身体状況に合わせて実施し、上肢、下肢筋力の低下を予防するとともに、参加者の継続意欲向上を図るため、毎回課題を提示し、自宅でも運動に取り組めるよう推進を図った。

○指導スタッフ

理学療法士（運動指導2回）、介護予防運動指導員（運動指導4回）、町健康福祉課保健師（音楽療法指導2回）、看護師（24回）、介助ボランティア（24回：延べ46名）、社協職員（運動指導20回）

④家族介護者交流事業

介護者同士の交流と心身のリフレッシュを図るため、在宅介護者の集いを開催するとともに介護講座を開催し介護保険制度の理解を図った。

○介護者の集いの開催

・期 日 令和2年7月30日（水）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）

・参加者 15名

・内 容 フラワーアレンジメント体験教室

講師：flowershop e-forume 中村 一実 氏

○介護者のための「介護講座」の開催

・期 日 令和3年2月25日（木）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）

・参加者 17名

・内 容 講話「介護保険サービスの利用について」

講師：階上町社会福祉協議会

介護支援専門員 山地 徹

レクリエーション（ペタンク）

（2）福祉団体等の育成支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、事務局を担当する福祉団体ごとに、役員会等において活動自粛等の協議を行いながら団体ごとの対応を図った。

○事務局担当福祉団体

①階上町老人クラブ連合会

②階上町身体障害者福祉会

③階上町手をつなぐ育成会

④階上町母子寡婦福祉会

⑤階上町共同募金委員会

⑥ボランティアサークルけやき

⑦階上町在宅介護者の会

(3) ハートフルプラザ・はしかみの管理運営（指定管理事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策をはじめ施設の使用制限等を含め町担当課との連絡・調整を図りながら、安全な施設利用のための対応を図った。

また、令和2年7月豪雨災害による避難所として、町担当課と連携して必要な対応を図った。

○施設の利用状況

- ・利用回数 927回（内使用料領収の回数：70回）
- ・月平均利用回数 77回（内使用料領収の回数：5回）
- ・利用人数 14,010名（内使用料領収の人数：1,364名）
- ・月平均利用人数 1,167名（内使用料領収の人数：113名）

○図書の利用状況

- ・利用人数 522名
- ・月平均利用人数 43名
- ・利用冊数 1,435冊（児童図書276冊、一般図書1,159冊）
- ・月平均利用冊数 119冊（児童図書23冊、一般図書96冊）

○施設維持管理、設備機器点検内容

①浄化槽維持管理業務

保守点検：毎月1回、浄化槽清掃：年1回（12月）、水質検査：年1回（11月）

法定検査：年1回（9月）

②消防設備保守点検業務

外観及び機能保守：年2回（6月・12月）、総合保守：年1回（6月）、防火対象物点検：年1回（9月）

③自家用電気工作物保安全管理業務

月次点検：需要設備2ヶ月に1回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）、年次点検：年1回（7月）

④清掃業務

床ワックス清掃：年3回（7月・11月・3月）、ガラス清掃：年2回（5月・11月）

カーペット洗浄：年2回（4月・10月）

⑤ボイラー空調設備及び給湯ボイラー保守点検

ボイラー空調設備保守点検：年2回（7月・10月）、給湯ボイラー保守点検：年1回（7月）

⑥重油地下タンク清掃及び漏洩検査業務：年1回（7月）

⑦ステップリフト点検業務：年2回（7月・12月）

⑧ピアノ調律・点検：年1回（10月）

⑨レジオネラ属菌分析：年1回（12月）

⑩警備業務委託

警備員による土日祝日及び夜間（17時～21時30分）の施設の戸締り、設備巡視、図書貸出の受付等

⑪機械警備委託

夜間（17時～翌日8時）等の施設の防犯、火災異常の機械警備

○消防訓練の実施

1回目

- ・期 日 令和2年9月4日（金）
- ・参加者 14名（職員8名、警備関係者4名、消防設備関係者2名）
- ・内 容 消火訓練、避難訓練

2回目

- ・期 日 令和3年3月31日（水）
- ・参加者 14名（職員8名、警備関係者4名、消防設備関係者2名）
- ・内 容 通報訓練、消火訓練、避難訓練

○令和2年7月豪雨災害に伴う避難所対応

- ・避難所開設日 令和2年7月12日（日）
- ・避難者数 2名

○意見・要望等の状況（意見箱によるもの）

年度内における意見・要望等はなかった。

(4) いきいきシルバーバンク事業

健康で働く意欲のある高齢者の経験や知識、技術を活かし、就労を通じて生きがいづくり、健康・福祉の増進を図るため、町より三陸復興国立公園内道路維持作業業務等を受託し階上岳登山道等の草刈り作業を進めるとともに、就業登録者の募集を図りながら一般世帯のニーズにより草刈り作業等の対応を図った。

登録者の就業に対する配分金の振込手数料は、事業予算での対応を図った。

○就業登録者 71名（内今年度登録者4名）

○刈払機取扱安全講習会の開催

- ・期 日 令和2年6月12日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 11名
- ・講 師 三八地方森林組合 係長 沼沢 佳哉 氏
- ・内 容 講義、刈払機取扱実技

○三陸復興国立公園内道路維持業務等に係る作業打合せ会の開催

- ・期 日 令和2年6月19日（金）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 12名（登録者8名、現場管理者2名、事務局2名）
- ・内 容 作業方法、作業場の心得、留意事項等について

※新型コロナウイルスの感染予防のため、新規作業者及び作業班長を対象として実施した。

○三陸復興国立公園内道路維持作業業務等草刈作業路線

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①登山口・石倉線（町道5,700m）2回 | ⑫臥牛園 2回 |
| ②寺下線（林道2,200m）2回 | ⑬放牧場遊歩道等 2回 |
| ③寺下・土折線（町道17,500m）2回 | ⑭大開平遊歩道（トレイル）2回 |
| ④館神社付近（トレイル300m）2回 | ⑮熊野堂（トレイル）2回 |
| ⑤上野・甘一線（町道500m）2回 | ⑯農村公園 2回 |
| ⑥銀杏木・寺下線（町道1,200m）2回 | ⑰八戸久慈道溜池 1回 |
| ⑦野沢・燈明堂下（町道1,100m）2回 | ⑱旧田代小中教員住宅跡地 2回 |
| ⑧鳥屋部線（林道2,500m）1回 | ⑲旧新田児童館跡地 2回 |
| ⑨耳ヶ吠・寺下線（町道1,400m）1回 | ⑳旧給食センター周辺 2回 |
| ⑩平内線（林道2,100m）1回 | ㉑八工大二高付近（2ヶ所） 2回 |
| ⑪田代線（林道2,900m）1回 | ㉒榊山町営住宅敷地 1回 |

○三陸復興国立公園内道路維持作業業務等草刈作業状況

- ・作業日数 45日間（6月：4日、7月：17日、8月：6日、9月：17日、10月：1日）
- ・実作業人員 登録者38名、現場管理者2名
- ・作業人員 延べ629名（登録者533名、現場管理者91名、事務局5名）

○作業中の事故

- ・物損 1件（刈払機の飛び石による自動車窓ガラスの破損）
- ・傷害 1件（作業中の蜂による虫刺され）

※加入している傷害保険及び損害賠償保険により対応した。

○住民ニーズへの対応

一般家庭の草刈り、草取り作業等軽易な作業の対応を図った。

- ・作業依頼件数 54件
- ・作業依頼者数 31名
- ・作業状況

依頼内容 内 訳	草 取 り	庭 木 剪 定	草 刈 り	屋 外 雑 役 (石敷き)	屋 外 雑 役 (ペンキ塗り)	除 草 剤 散 布	(延べ) 計
依頼件数	17件	9件	25件	1件	1件	1件	54件
作業人員	32名	10名	37名	1名	1名	1名	82名
作業日数	41日	12日	39日	2日	2日	2日	98日
延べ作業人員	67名	13名	54名	2名	2名	2名	140名

- ・手数料収入 49,030円

3. 福祉課題の把握

(1) 福祉ニーズ・課題把握

民生委員児童委員やほのぼの交流協力員、関係機関等の連携を図りながら、コロナ禍における地域の福祉課題やニーズ把握等に努めるとともに、介護保険サービス利用者のアンケート調査を実施し、課題やニーズの把握に努めた。

(2) 地域福祉活動計画の進行管理

第3次地域福祉活動計画の進行管理のための委員会の設置計画であったが、諸般の事情により設置できなかったため、令和3年度において設置を図り進行管理を推進する。

Ⅱ 福祉教育・ボランティア活動の推進

1. 福祉意識の高揚と人づくり

(1) 第42回階上町社会福祉大会

- ・期 日 令和2年11月18日(水)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

受賞者に対する表彰状並びに感謝状の贈呈は、受賞者のみの出席により贈呈式を行った。

(表彰者：伝達2名、表彰4名、感謝5個人・2団体)

(2) 福祉サポーター養成講座の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

(3) 実習生の受入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により、実習受入れの要請はなかった。

2. 福祉教育の推進

(1) ボランティア推進校事業の推進

町内全小中学校（小学校6校、中学校2校）を事業指定し、学校ごとの計画によりボランティア活動や体験学習などをおして、福祉への理解を深める取り組みを推進した。

○事業推進会議の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

○活動状況（活動報告書より）

学校名	主な活動内容
石鉢小学校	○階上駅付近の清掃活動 ○かっこの森、見心園訪問 ○八戸第一養護学校との交流 ○高齢者疑似体験の実施 ○ほのぼの交流会をととした地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動、ベルマーク収集、プルタブ収集
階上小学校	○学校だより等をととした活動状況掲載 ○高齢者疑似体験の実施 ○通学路の安全確認調査 ○階上岳の清掃登山 ○草刈り、窓ふき、通学路等の清掃活動 ○グラウンドゴルフを通しての高齢者との交流 ○参観日でのえんぶり披露 ○老人クラブ会員の指導のもと農業体験活動の実施 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○ペットボトル蓋の収集活動 ○八戸第二養護学校生徒との交流
赤保内小学校	○学校だより等への活動掲載 ○米づくり、畑作体験学習 ○福祉作文への取り組み ○高齢者疑似体験の実施 ○地域のあいさつ運動実施 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブ、ベルマーク等の収集活動 ○読み聞かせボランティアとの交流
大蛇小学校	○学校だよりへの活動掲載 ○福祉作文の応募 ○校地草刈 ○赤い羽根共同募金等の募金活動、プルタブ収集活動 ○植樹運動 ○大蛇駅舎、大蛇海岸の清掃 ○朝のあいさつ運動
道仏小学校	○学校だより等への活動掲載 ○福祉作文への取り組み ○ごみ減量とリサイクルへの取り組み ○校内外の清掃 ○米作り体験学習をととした地域住民との交流 ○神楽組の方との道仏子ども神楽の指導を受けながらの交流 ○SDGsに関する学習 ○防災に係る活動 ○高齢者疑似体験の実施 ○赤い羽根共同募金等への取り組み
小舟渡小学校	○小学校だよりへの活動掲載 ○地域住民へのあいさつ運動 ○学校周辺、海岸の清掃活動 ○うに採り等での体験学習 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブ、アルミ缶の収集 ○独楽回し大会等を通しての老人クラブ会員との交流 ○伝統芸能を通しての地域との交流
階上中学校	○学校だより等への活動掲載 ○学校環境整備、除雪作業 ○赤い羽根共同募金への協力
道仏中学校	○活動の展示発表 ○緑の羽根募金活動 ○学路、海岸や公共施設等の清掃活動 ○草刈り、花壇整備

○高齢者疑似体験の実施

期 日	場 所	参加者
令和2年 7月16日	道仏小学校	12名(5、6年生)
令和2年10月22日	赤保内小学校	31名(4年生)
令和3年 2月 5日	石鉢小学校	30名(3年生)

(2) 幼児と高齢者のふれあい事業

町内児童福祉施設（保育園4ヶ所）において、施設の行事等をととした地域の高齢者と幼児のふれあい交流の促進に努めた。

○事業推進会議の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

○活動状況（活動報告書より）

施設名	主な活動内容
石鉢保育園	夕涼み会、運動会、おにぎりクッキング、生活発表会をととした交流を企画
階上保育園	園庭の草取り・種まき、運動会クリスマス会をととした交流
はまゆり保育園	流しそうめん大会、大運動会、収穫祭をととした交流を企画
道仏保育園	いもまき、さつまいも苗植え、七夕のつどい、大根まき、じゃがいも掘り、運動会、大根・さつまいも掘りをととした交流

(3) 第41回社会福祉作文の募集と文集「そよ風」の発行

○応募総数 51編（小学生36編、中学生15編） 町内全小中学校より応募

○審査会の開催

- ・期 日 令和2年10月13日（火）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
- ・出席者 審査員5名、事務局
- ・内 容 委員長選出、入選作審査（最優秀等入選10作品を決定）

○入選作品を掲載する文集「そよ風」第41集を発行（180部）するとともに、最優秀作品の社協だよりへの掲載により、児童生徒の福祉に寄せる思いの理解と啓発を図った。

(4) 福祉体験学習事業

中学生を対象として、町内の福祉施設での交流や体験学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

3. ボランティア活動の推進

ボランティア団体、グループ活動情報登録の周知を図るとともに、安心、安全に活動できるようボランティア保険の周知と加入促進を図った。

○ボランティア保険の加入

- ・加入者数 284名

Ⅲ 福祉情報の提供・総合相談・自立生活支援機能の充実

1. 福祉情報の提供

(1) 広報誌「社協だより」の発行

社協活動や福祉事業への理解と啓発及び情報提供のため、広報誌として「社協だより」の毎月発行を行い広報活動の充実に努めた。

○社協だよりの発行

- ・発行回数 毎月発行（年度内42ページ）2色印刷
- ・発行部数 55,200部（4,600部×12ヶ月）

※有料広告の掲載事業所はなかった。

(2) 社協パンフレットの作成

社協活動の啓発、PRのためのパンフレットを300部作成した。

(3) 社協ホームページの運用・更新

社協ホームページにより、インターネットによるタイムリーな事業や活動状況の周知を図った。

（HP アドレス <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>）

2. 相談体制の充実

住民の抱える問題や悩み事が複雑多様化する中で、行政相談員・人権擁護委員及び関係機関との連携のもとに相談支援を図るとともに、高齢者相談窓口として町地域包括支援センターとの連絡調整を図りながら事業の推進に努めた。また、専門相談のニーズに対応し毎月1回弁護士による法律相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に努めた。

- 相談員数 10名（民生委員4名、学識経験者6名）
- 相談所開設日数 31日（毎週火曜日定例相談所開設、毎月第3火曜日合同相談所開設、毎月第4火曜日法律相談所開設）
- 利用者数 40名（男性7名、女性24名、同伴者9名）
- 相談件数 31件（心配・合同相談：9件、法律相談：22件）
- 運営委員、相談員合同会議（事例研究含む）の開催
 - ・期 日 令和3年2月18日（木）
 - ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
 - ・出席者 15名（相談員9名、運営委員3名、会長、事務局2名）
 - ・内 容 令和2年度相談利用状況について、令和2年度相談事例について
令和3年度相談所の運営について、令和3年度相談所開設日程について

○相談項目ごとの件数と処理状況

相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合
件数	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	計
取扱件数	2			1	2		3			8	12							1	2	31
処	解決				2		3			7	10								2	24
理	再来																			
状	民生委員																			
況	他機関										2							1		3
	その他	2			1					1										4

3. 自立生活支援の充実

（1）給食サービス事業

- サービス実施回数 100回（水曜日50回、金曜日49回、火曜日1回）
- サービス利用実人数 12名（一人暮らし11名、その他1名）
- サービス利用延べ人数 738名（水曜日433名、金曜日305名）
- ボランティア延べ人数 97名（運転6名、補助91名）
- 弁当依頼事業所 サポートセンター虹（八戸市）
- 年末年越し配食サービス（12月31日実施）

75歳以上の一人暮らしの高齢者で、大晦日の年越しを一人で過ごされる方を対象に、ボランティアの協力を得ておせち料理の配食を実施した。

- ・利用者数 118名
- ・配食ボランティア 21名

(2) 福祉機器貸与事業

介護を必要とする高齢者等を対象として、福祉機器（介護用ベッド、車椅子）の貸出しを行い、介護負担の軽減を図るとともに、在宅での自立生活支援を図った。

○利用状況

機器名	前年度末 機器台数	寄附受入 台数	廃棄処分 台数	年度末 機器台数	前年度末 貸出台数	貸出台数	返却台数	年度末 貸出台数
介護用ベッド	16	0	0	16	16	3	3	16
車椅子	50	2	0	52	29	11	15	25

○プラタブ収集状況 年度内収集量 200kg(換金額:15,620円)

(3) 日常生活自立支援事業

高齢や障害等による軽度な判断能力の低下に伴い、一人で生活することの不安感や日常的な金銭管理が困難な方を対象として、基幹的社協（八戸市社協）や関係機関、生活支援員との連携のもとに日常生活上の支援を図った。

- ・利用者数 3名
- ・生活支援員 2名

(4) 介護保険サービス事業等の推進

高齢者や障がい者の自立した在宅生活支援のため、保健・医療・福祉の関係機関並びに関係サービス事業所、町地域包括支援センターと連携し、利用者本位のサービスとして事業の推進を図った。また、青森県より新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金の交付を受け、感染予防・防止対策を徹底しながら事業の推進を図った。（県補助金：居宅介護支援 131 千円、訪問介護 436 千円、介護職員慰労金 403 千円）

①居宅介護支援事業

- 介護支援専門員の配置 2名（専任1名、兼任1名）
- ケアプラン作成実利用者数 38名（男性14名、女性24名）
- ケアプラン作成延べ利用者数 368名
- 予防ケアプラン作成実利用者数 5名（男性3名、女性2名）
- 予防ケアプラン作成延べ利用者数 60名
- 要介護認定調査件数 12件
- 介護サービス情報公表制度実地調査受審（11月9日）
- 利用者アンケート調査 調査対象者数 24名
- 回答者数 16名（回答率66.7%）
- 実施時期 令和3年1月
- 調査方法 調査票の郵送

※令和2年度前期（令和2年3月～8月）における訪問介護事業所の紹介率が80%を超えたため、令和2年10月から令和3年3月まで特定事業所集中減算の適用を受けた。

②訪問介護事業（特定事業所加算Ⅱ算定）

- 訪問介護員数 8名（常勤2名、登録型6名）
- 実利用者数 50名（男性19名、女性31名）
- 期間内利用者合計 383名（介護318名、総合事業65名）
- 延べ利用日数 4,873日（介護4,546日、総合事業327日）
- 延べ利用回数 7,021回（介護6,694回、総合事業327回）
- 延べ利用時間数 3,933時間12分（介護3,606時間12分、総合事業327時間）
- 利用者アンケート調査 調査対象者数 22名（介護保険利用者20名、障害福祉サービス利用者2名）
- 回答者数 17名（回答率77.3%）
- 実施時期 令和3年1月
- 調査方法 調査票の郵送

③居宅介護事業（障害福祉サービス）

- 実利用者数 3名（視覚障害1名、下肢機能障害1名、精神障害1名）
- 期間内利用者合計 20名
- 延べ利用日数 169日
- 延べ利用回数 193回（通院介助8回、家事援助195回）
- 延べ利用時間数 220時間（通院介助25時間、家事援助195時間）

④福祉サービス苦情受付状況

年度内における苦情の申出はなかった。

（５）各種資金貸付事業の推進

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯等の日常生活上の経済的支援と自立に向けて、民生委員や県社協、町担当課及び生活困窮者自立支援窓口等との連携のもとに、資金貸付事業の対応を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し生活に困窮する世帯に対する生活福祉資金の特例貸付の対応を図った。

①たすけあい資金の貸付

- 前年度末貸付原資金額 7,590,348円
- 前年度末貸付金額 2,847,914円（45件）
- 本年度貸付金額 200,000円（4件）
- 本年度償還金額 62,000円（2件）
- 本年度末貸付金総額 2,985,914円（47件）
- 本年度末貸付原資金額 7,586,186円

②高額療養費資金の貸付

- 前年度末貸付原資金額 4,189,972円
- 前年度末貸付金額 682,000円（3件）
- 本年度貸付金額 0円（0件）
- 本年度償還金額 41,000円（0件）
- 本年度末貸付金総額 641,000円（3件）
- 本年度末貸付原資金額 4,189,972円

③生活福祉資金の貸付

- 本年度決定金額 12,116,000円（55件）

○利用状況

資金種類	利用件数	貸付決定金額	貸付残高（元金）
教育支援資金	12	6,404,490円	3,747,240円
緊急小口資金	6	390,000円	161,250円
離職者支援資金	1	2,400,000円	2,277,400円
総合支援資金	12	14,231,000円	12,726,119円
特例緊急小口資金	46	7,800,000円	7,800,000円
特例総合支援資金	8	4,050,000円	4,050,000円
計	85	35,275,490円	30,762,009円

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付相談件数 111件

（６）移送・移動支援サービス等の実施検討

高齢者や障害のある方等の通院などを目的とした移送・移動支援サービスや、生活困窮に陥っている方に対し一時的に食料を提供し支援する事業について、三戸郡内町村社協より情報収集等を進めるとともに、生活が困窮する世帯に対し、災害用として備蓄していた非常食等を配布し支援を図った。また、赤い羽根「新型コロナウイルス感染症対策支援活動助成事業」による助成を受けて、新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮する世帯に対し食糧支援を図った。

- ・新型コロナウイルス感染症対策支援活動助成事業助成額 100千円
- ・食糧配付世帯数 17世帯（配付食糧数：148個）

IV 災害時支援体制の充実

令和2年7月豪雨災害に伴い、町担当課と連絡・調整を行いハートフルプラザの避難所開設のための対応を図った。

- ・避難所開設日 令和2年7月12日（日）
- ・避難者数 2名

災害ボランティアセンターの運営に関わるボランティア並びに被災者への救援活動を行うボランティアとして必要な知識を習得し理解を深めるため、災害ボランティア及び災害ボランティアセンター運営スタッフ登録者、並びに八戸工業大学学生を対象に、県社協主催の「災害ボランティア研修会」に参加していただいた。

○県社協主催「災害ボランティア研修会」（ZOOM会議）

- ・期 日 令和3年2月4日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加人数 13名

○災害ボランティア等登録状況

- ・災害ボランティア全登録者数 18名（新規登録なし）
- ・災害ボランティアセンター運営スタッフ全登録者数 16名（新規登録なし）

V 社協の機能・体制強化

1. 社協組織の強化

社会福祉法に則して事業運営の透明性の向上に努めるとともに、執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会並びに専門部会や幹部会等での協議・検討を行いながら組織運営を図った。また、外部専門家（税理士）による財務諸表等のチェック・指導を受けながら適正な組織運営に努めた。

役員研修として、県社協主催の「社協役職員・監事等研修」にWEBによる参加を図った。（参加者13名）

2. 財政基盤の整備

（1）社協会員の加入促進

各地区とも区長、班長の方々のご協力をいただき、社協事業の理解と周知を図りながら会員加入の促進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により会費納入期間を延長するとともに、町内法人・事業所の団体会員への加入促進に努めた。

○会員数

会員区分	令和2年度	令和元年度	比較増減
普通会員（1,000円）	2,736	2,854	△118
賛助会員（2,000円）	60	63	△3
特別賛助会員（5,000円）	28	28	0
団体会員（3,000円）	51	43	8
合 計	2,875	2,988	△113

(2) 公費助成の確保

社協が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに鑑み、地域福祉推進のための補助金・受託金について、町の理解と公費助成の継続的交付のための働きかけを行った。

○補助金、委託金に係る陳情

- ・期 日 令和2年12月24日(木)
- ・場 所 役場会議室
- ・出席者 11名(町長、副町長、総務課長、総合政策課長、健康福祉課長、福祉グループリーダー、正副会長、常務理事、事務局)

(3) 共同募金運動への協力

階上町共同募金委員会を中心として、共同募金運動の趣旨や配分事業の周知と理解を図りながら、地域福祉活動を支える募金運動への協力を図った。

○目標額 2,610,000円

○募金実績概要

募金種別	実績額
戸 別 募 金	2,201,117円
法 人 募 金	373,000円
学 校 募 金	50,131円
職 域 募 金	16,018円
そ の 他	93,823円
合 計	2,734,089円

3. 職員研修の充実等

社会福祉援助者としての職員の資質向上を図るため、県社協等が主催する外部研修会等へ参加してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったり、また感染予防・防止の観点から極力参加を自粛した。また、職員会議においてコロナ禍における事業検討や福祉サービス向上のための協議等をとおして職員の専門性向上に努めるとともに、正職員全員による自己評価を実施し、実施結果に基づき次年度の事業計画等への反映を図った。

○職員会議の開催

毎月1回(12回開催)

○社協自己評価の実施

評価方法：青森県市町村社会福祉協議会自己評価指針により評価を実施した。

評 価 者：正職員全員(7名)

実施時期：令和2年12月～2月(自己評価指針評価シートによるチェック、集計)
3月(評価まとめ)

○外部研修参加状況

- ・事務局職員
 - 安全運転管理者講習
 - 県市町村社協連絡会三八ブロック研修会
 - 三戸郡災害時広域連携活動研修会
- ・介護事業職員
 - 主任介護支援専門員更新研修
 - 介護サービス情報の公表制度「10のテーマに係る研修会」

令和２年度事業報告附属明細書

令和２年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人
階上町社会福祉協議会
会 長 松橋 竹子